



町田シティオペラ愛好会〈MCOA〉第21回おさらい会



2017年5月14日(日) 13時45分開場 14時00分開演 まちだ中央公民館ホール
 ●指導・指揮・演出 鹿又 透 ●指導 佐野 千春 ●ピアノ 深瀬 洋子

モーツァルト作曲 オペラ『フィガロの結婚』より抜粋

○1幕

(1番～2番) ① スザンナ 大村 真紀 フィガロ 筈谷 雄吾
 ② スザンナ 飯野 敏子 フィガロ 筈谷 雄吾
 (5番～6番) スザンナ 木宮 千絵 ケルビーノ 秋元 麻紀子 マルチェッリーナ 原田 陽子
 (7番) 伯爵 市川 宥一郎 スザンナ 大村 真紀 バジリオ 辻本 和美

○3幕

(17番) スザンナ 藤原 玲子 伯爵夫人 岩本 由美子 伯爵 市川 宥一郎
 (19番) ① スザンナ 藤原 玲子
 ② スザンナ 浜田 直美
 マルチェッリーナ 辻本 和美 クルツィオ 原田 陽子
 バルトロ 竹尾 信吉 フィガロ 筈谷 雄吾 伯爵 市川 宥一郎

【休憩】

(21番) ① 伯爵夫人 岩本 由美子 スザンナ 藤原 玲子
 ② 伯爵夫人 柏原 登希子 スザンナ 木宮 千絵
 (22番) 合唱 全員
 (23番) 伯爵夫人 柏原 登希子 スザンナ 木宮 千絵 バルバリーナ 堀田 晶子
 アントーニオ 竹尾 信吉 フィガロ 筈谷 雄吾 ケルビーノ 秋元 麻紀子
 伯爵 市川 宥一郎
 合唱 全員 花娘 浜田 直美・辻本 和美

○4幕

(24番) バルバリーナ 堀田 晶子 フィガロ 市川 宥一郎 マルチェッリーナ 原田 陽子
 (29番) スザンナ 秋元 麻紀子 フィガロ 市川 宥一郎 伯爵 竹尾 信吉
 伯爵夫人 岩本 由美子
 合唱 全員

※都合により、プログラム・出演者等について変更の生じる場合がございます。予めご了承ください。



～ モーツァルト作曲 オペラ「フィガロの結婚」 あらすじ ～

舞台は18世紀半ばのスペイン郊外にあるアルマヴィーヴァ伯爵の屋敷。今日は、伯爵家の家来フィガロと、女中スザンナの結婚式の日。

<1幕>

フィガロは朝から上機嫌！伯爵から賜った部屋に二人のためのベッドが入るかどうかルンルンと図っていると、スザンナから「私に気がある伯爵が、一度廃止した初夜権（領主が花婿より先に花嫁と一夜を共にする権利）の復活を企んでいる」と聞き大ショック！なんとか伯爵の悪事を阻止しようと決心する。（1番・2番）

一方、女中頭のマルチェリーナは、「借金を返せなかったら結婚すること」という証文をたてに年甲斐もなくフィガロとの結婚をもくろみ、医師バルトロに協力を依頼。バルトロはフィガロへの過去の恨みを晴らす機会だと快諾する。

部屋で居合わせてしまったマルチェリーナを追い出したスザンナのもとへ、小姓ケルビーノがやってくる。昨日バルバリーナとの逢引が伯爵に見つかり、クビにされてしまったため、伯爵夫人へのとりなしを頼みに来たのだ。（5番・6番）そこに、伯爵がスザンナを口説きにやってくる。さらに音楽教師のバジリオも現れ、現場は大混乱！（7番）ソファにケルビーノが隠れているのを見つけた伯爵はケルビーノに軍隊行きを命ずる。

<2幕>

一人で迎える朝が続く伯爵夫人の部屋。伯爵夫人とスザンナに、フィガロがある提案をする。それは、「伯爵夫人が他の男と逢引きしている」という手紙を伯爵に渡し、嫉妬に狂っている間にスザンナとの結婚式をしてしまい、しかも！スザンナには伯爵との逢引きを約束させ、代わりに女装させたケルビーノを行かせ、伯爵夫人がその現場を捉えてお灸を据えるというもの。早速女装するためにフィガロに連れてこられたケルビーノ。だが、密かに思いを寄せる伯爵夫人に気もそぞろ。やがて伯爵夫人とケルビーノが二人きりになると、何やら妖しい雰囲気…。

そこへフィガロが仕組んだ手紙を読んだ伯爵が嫉妬にかられて登場。夫人は大慌てでケルビーノを衣装部屋へ匿う。「衣装部屋に愛人がある」と怒り狂う伯爵、なだめつつシラを切る夫人、何とかしなくてはと様子を伺うスザンナ。伯爵は衣裳部屋を開ける道具を取りに、夫人を連れて部屋を出て行く。その隙に、スザンナはケルビーノを脱出させ、自らが衣裳部屋に入る。

伯爵が夫人と戻り、工具で衣装部屋のドアをこじ開けようとすると、中から出てきたのはスザンナ！なぜ…?! 一気に形成逆転の伯爵夫人は、伯爵を責め立て、伯爵は一転許しを請う状況に。夫人とスザンナは、うっかり手紙はフィガロが書いたと伯爵にばらしてしまう。と、そこへフィガロが登場。伯爵が手紙のことを聞いてもフィガロはシラを切り通す。ところがアントーニオが「窓から男が落ちてきた」と訴えにきた！伯爵の疑いが再燃するが、このピンチをフィガロ、伯爵夫人、スザンナの機転と連携プレーで乗り切る。ホッとする間もなく、今度は三馬鹿トリオ（マルチェリーナ、バルトロ、バジリオ）が、「借金を返さないならマルチェリーナと結婚を」と乗り込む。ほくそ笑む伯爵、悔しがるフィガロ、スザンナ、夫人。大混乱のうちに幕を閉じる。

<3幕>

伯爵の部屋。伯爵が一連の出来事をいぶかしんでいると、スザンナがやってくる。そしてなんと、スザンナが逢引きに応じると言うではないか!? 喜びいっぱい、有頂天の伯爵だが、実はこれは、「夫の愛を取り戻してみせる」と決意した伯爵夫人が考えた新たな計画。それは、スザンナが逢引きに応じるとおぼせておいて、現場にはスザンナに扮した伯爵夫人が行くというものなのだ。（17番）一方、フィガロは裁判で今にもマルチェリーナと結婚させられそうになっていた。ところが、そこで衝撃の事実が判明する…!! 状況は一転、フィガロはスザンナと無事結婚式を挙げることになった。（19番）スザンナは伯爵夫人と二人で書いた逢引きのための手紙（21番）を、喜びあふれる結婚式の最中、そっと伯爵に渡すのだった。（22番・23番）

<4幕>

夜の屋敷内の森。バルバリーナから伯爵とスザンナが逢引する話を聞き出したフィガロは大激怒！（24番）二人の逢引の待ち合わせ場所へ向かう。一方スザンナと伯爵夫人は、伯爵夫人の計画に沿ってお互い衣装交換をして準備万端。伯爵は二人の思惑通り伯爵夫人をスザンナだと勘違いし、でれでれと口説き東屋へ。フィガロがその現場を押さえようとすると、伯爵夫人に扮したスザンナが止めに入る。声でスザンナだと見抜いたフィガロは仕返しにと逆に「奥様、私たちも…!!」と口説き返す。スザンナは怒り嘆くが、種明かしされて二人は仲直り。そこへ伯爵がスザンナを探しに戻ってきて、伯爵夫人とフィガロが逢引していると勘違いする。怒った伯爵は皆を集め責め立てようとするが、奥から本物の伯爵夫人が現れる。全てを理解した伯爵は伯爵夫人に許しを請い、伯爵夫人も広い心でそれを受け入れ、幕となる。（29番）